

♪ あめあめ

♪ ふれふれ



雨が降る季節になりました。そこで今回は、雨の本を中心に紹介します。
さっそく開いてみてくださいね。
ここで紹介するのは一部です。ほかにもたくさんありますよ。

雨が降ってきました



『おじさんのかさ』 佐野洋子/作・絵 講談社

とっても立派なかさを持っているおじさんは、いつもそのかさを持って出かけます。でもおじさんは、雨が降っても大事なかさを開きません。ところがある日、「あめがふったらポンポロン あめがふったらピッチャンチャン」という歌を聞いたおじさんは、とうとうかさを開いてみました。すると、ステキなことがおじさんを待っていましたよ。

『雨、あめ』 ピーター・スピーアー/作・絵 評論社

ある雨の日、お姉ちゃんと弟はレインコートを着て、かさをさして出かけて行きます。雨の日の道、公園には楽しいことがいっぱいです。そしてお家に帰っても、楽しいことがいっぱい。

雨の日だからこそ、楽しむことがつまった絵本です。



『かさ』 太田大八/作・絵 文研出版

赤いかさをさした女の子は、大きなかさを持ってお父さんのお迎えに行きます。雨の中、池でおよぐ鳥を見たり、とちゅうでお友だちに会ったり、散歩中の犬に水をかけられそうになったり……。雨の日のお迎えは、いつもとちがう風景です。駅に着き、ぶじにお父さんに会えた女の子はステキなごほうびをもらいました。

あめ ひ い もの 雨の日の生き物たち



『あめが ぶるとき ちょうちょうは どこへ』

M・ゲアリック/文 L・ワイズガード/絵 岡部うた子/訳 金の星社

雨が降ったらもぐらは穴にもぐります。みつばちは巣に飛んで帰ります。ことりはつばさの下に頭をいれます。でもちょうちょうはどこへ行くのでしょうか。みなさんは知っていますか？

『あまやどり』 久保秀一/写真 七尾 純/文 偕成社

雨が降ってきました。かたつむりはいい天気になったぞと思ひ、お散歩に出かけることにしました。ところがみんなは「あまやどり」をして誰も遊んでくれません。

みんなが言う「あまやどり」がわからないかたつむりは、「あまやどり」ってなんだろうなあとと思ひながら、散歩を続けます。

あめ ぶ あと 雨が降った後には・・・



『にじ』 さくらいじゅんじ/文 伊勢英子/絵 福音館書店

雨がやんだ後、男の子が散歩に出かけるとにじが出ていました。

にじって飛行機から見たらどう見えるんでしょう？まよこのビルや、うらがわから見たらどう見えるんでしょう？そもそもにじってどうやってできるんでしょうね。

にじの秘密がわかる絵本です。

ほかにも・・・

『雨とひょう』

フランクリン・M・ブランリー/文 ヘレン・ポーテン/絵 川西伸男/訳 福音館書店

『ピッツアぼうや』 ウィリアム・スタイグ/作 木坂 涼/訳 セーラー出版

『みず』 長谷川摂子/文 英 伸三/写真 福音館書店

『ぞうくんのあめふりさんぽ』 なかのたかひろ/作・絵 福音館書店

『ゆかいなかえる』 ジュリエット・ケペシュ/文・絵 いしいももこ/訳 福音館書店

紹介した本以外にも、たくさんあります。探してみましよう。